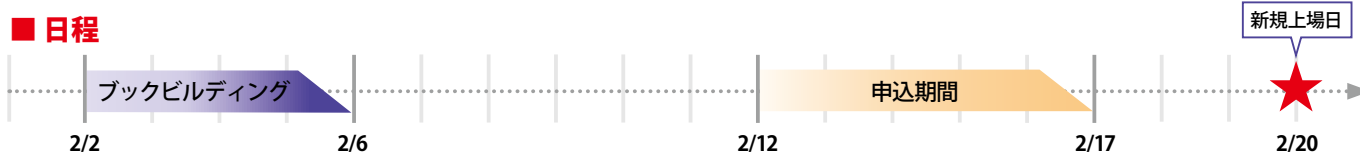


## IPO銘柄 ホクリヨウ (1384・東証2部)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
1384	100株	公募: 130.00万株 売出: 90.00万株 (OA33.00万株)	430円~460円 (11.1倍)	野村証券



### 北海道内で高シェアを誇る鶏卵事業会社

#### ■ 事業内容

北海道で鶏卵事業を手掛ける。道内の採卵鶏飼養羽数525万羽（13年農林水産省畜産統計）に対して252万羽と48%のシェアを握る。鶏卵販売は道内多くのスーパーで取り扱われるほか、ホテル、レストラン、パン・ケーキなど業務用に幅広く使用されている。小売店向けではさまざまな栄養素が強化された「PG卵モーニング」、魚粉や骨肉粉を一切使用しない原料を基本とした資料で育てた鶏が生んだ「サラダ気分」、ラベルに農場と生産者の顔写真を入れた「雛の巣」がある。鶏卵事業のほか、食品事業として豚肉、鶏肉の畜肉を主体に道内のホテル、飲食店に販売している。15年8月期第1四半期（14年9～11月）の売上高構成比は、鶏卵事業が87.1%、食品事業が12.9%などとなっている。

#### ■ 特徴

生産から販売まで一貫して手掛けており、消費者のニーズを素早く生産に反映させることができる。初生雛から自社で育成するほか、鳥インフルエンザを防備する鶏舎構造、サルモネラワクチンの接種など、食の安全への取り組みにも尽力。05年6月以降はトレーサビリティの手法を導入し、卵殻に直接賞味期限とトレーサビリティ番号を印字している。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

15年8月期の連結経常利益は前期比27.1%増の5億2,600万円を予想する。鶏卵価格の上昇と底堅い需要に支えられて足元の業績は堅調に推移。利益率も向上傾向にある。国内景気の回復を背景に、ホテル、飲食店向けの需要動向にも不安は乏しいとみられる。

#### ■ 定性分析

足元で利益率が改善しているものの、成熟産業であるため急成長を望みづらいビジネスモデルとなっている。14年4月に販路拡大を目指して岩手県の企業を子会社化するなど、M&A（企業の合併・買収）による道外への進出を進めているが、成長力が評価されるタイプの案件ではなさそうだ。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約11.6億円。平均的な吸収金額ではあるが、東証2部は初値買いが入りづらいマーケット。14年12月に同規模の東証2部上場案件で公開価格割れが出てしまったことで、需給面への警戒感に残りそうだ。（小泉健太）

#### ■ 類似企業

ホクリヨウ(1384・東証2部)	予想PER11.1倍 (仮条件上限)
秋川牧園(1380・JASDAQ)	予想PER77.6倍
イフジ産業(2924・東証2部)	予想PER13.5倍

#### ■ 引受証券

野村証券、みずほ証券、SMBC日興証券、岡三証券、高木証券、エース証券、岩井コスモ証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年8月期(実績)	10,660	2.5	435	2.1	201	9.6	34.6	3.3
14年8月期(実績)	13,239	—	413	—	54	—	9.4	6.7
15年8月期(会社予想)	14,907	12.6	526	27.1	269	5.0倍	41.4	10.0

※ 14年8月期から連結決算。14年11月に株式分割(1株→3株)を実施。13年8月期、14年8月期のEPSは遡及

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年8月期	1,943,000	8,263	3,877	299	665.2	46.9	5.3
14年8月期	1,943,000	9,705	3,942	300	676.4	40.6	1.4

※ 13年8月期および14年8月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	米山 恵子	4,258,800	73.06
2	米山 貞子	1,019,400	17.49
3	米山 大介	193,800	3.32
4	米山 公久	117,000	2.01
5	窪田 セン蔵	54,000	0.93
6	森内 裕司	27,000	0.46
6	森内 美希	27,000	0.46
8	小笠原 貞由	18,000	0.31
8	草刈 陸男	18,000	0.31
8	本間 武光	18,000	0.31
8	品田 宣克	18,000	0.31
8	柳谷 和廣	18,000	0.31
8	川崎 正雄	18,000	0.31

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	米山 大介
専務取締役 管理本部長	大野 則明
取締役 生産本部長	小熊 芳夫
取締役 企画部長	進藤 正紀
取締役 営業本部長	福島 尚樹
取締役 GP部長	加藤 公明
取締役	津元 淳
監査役(常勤)	大沼 尚之
監査役	酒井 純
監査役	岡崎 拓也

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。